



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月10日

上場会社名 株式会社 永谷園ホールディングス 上場取引所 東  
コード番号 2899 URL <https://www.nagatanien-hd.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永谷 泰次郎  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部経理財務部長 (氏名) 江口 輝 TEL 03-3432-3105  
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月8日  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	55,637	7.3	2,890	16.9	3,363	7.8	2,021	5.6
2023年3月期第2四半期	51,840	13.1	2,473	△9.5	3,119	△5.5	1,914	6.2

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 4,906百万円 (29.5%) 2023年3月期第2四半期 3,787百万円 (9.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	115.66	—
2023年3月期第2四半期	108.93	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	102,218	44,540	40.7
2023年3月期	96,615	40,066	38.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 41,592百万円 2023年3月期 37,565百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	15.50	—	15.50	31.00
2024年3月期	—	15.50	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	15.50	31.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	113,800	3.0	5,900	11.4	5,600	4.8	3,600	15.6	206.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、(添付資料) 10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	19,138,703株	2023年3月期	19,138,703株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	1,663,937株	2023年3月期	1,663,619株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	17,474,963株	2023年3月期2Q	17,576,650株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、(添付資料) 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) キャッシュ・フローの状況 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	10
(セグメント情報) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加により、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、エネルギー価格や原材料費の高騰による継続的な物価上昇、生活防衛意識の高まりによる消費低迷、海外景気の下方リスク等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは、「企業戦略の充実」と「新価値提案力の更なるアップ」を経営課題として企業活動を行ってまいりました。この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高55,637百万円（前年同期比7.3%増）となりました。利益面については、営業利益2,890百万円（同16.9%増）、経常利益については、3,363百万円（同7.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益については、2,021百万円（同5.6%増）となりました。

以下、セグメントの状況は次のとおりであります。

#### ①国内食料品事業

永谷園では、花かつお(かつお節)の素材感とパリパリ・サクサクの食感が味わえる「パリサクかつおふりかけ」や、5種類のだし素材をバランスよく配合した「フリーズドライ こくだしみそ汁 8袋入」、電子レンジでパスタとソースが一度に調理できる「パキットシリーズ」の新メニュー「パキット たらこ」等を、新たに発売いたしました。また、「お茶づけ」をより身近に感じていただくための施策として、子育て中の社員が中心となり、「お茶づけ」セミナーやオリジナル「お茶づけ」作り、アレンジレシピの試食等を通して「お茶づけ」の魅力をアピールする親子参加型のイベントを実施いたしました。加えて、中華惣菜の需要が夏場に高まることに着目し、夏野菜と麻婆春雨やビーフン惣菜をあわせて食べることを提案したテレビCMや消費者キャンペーン等を展開し、売上拡大に努めてまいりました。

以上の結果、国内食料品事業の売上高は27,009百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

#### ②海外食料品事業

Chaucerグループでは、フリーズドライの既存商品の品質向上及び拡販に努めるとともに、顧客ニーズに合わせた新商品開発にも取り組んでまいりました。米国市場では、インフレにより消費傾向が低価格帯にシフトする中で、主に大手小売企業との関係強化によりPB商品の拡販に努めてまいりました。欧州市場では、グローバル企業との取引拡大による新商品投入を進めてまいりました。アジア市場では、主に飲料・製菓市場での売上拡大に努めてまいりました。

また、MAIN ON FOODSグループでは、米国市場における麺商品及び粉商品のサプライヤーとして、多数の的外食企業・食品メーカー及び小売企業との着実な取引拡大に努めてまいりました。開発面においても、畜肉取り扱いの認証取得により商品ラインナップの拡充を図るとともに、多様な健康ニーズに対応すべく、機能的食品やミールキット等の新商品開発にも取り組んでまいりました。

以上の結果、海外食料品事業の売上高は20,894百万円（前年同期比8.1%増）となりました。

#### ③中食その他事業

2023年9月1日をもって商号を変更したDAY TO LIFEグループ（旧・麦の穂グループ）では、原材料費高騰等の影響を受けながらも、シュークリーム専門店「ビアドパパ」にて季節限定シュークリームのメニュー展開や、モバイルアプリ導入等の施策を進め、顧客の獲得に努めてまいりました。特に7～8月限定で発売した「焼きチーズケーキシュー」は、サクサクのオリジナルシュー生地と濃厚なチーズケーキベースの味わいで多くのお客様にご好評いただきました。加えて、今年も8月8日～8月15日に「88（パパ）セット」を特別価格で販売する「ビアドパパ感謝祭！」を実施し、特別割引券がその場で当たるSNSキャンペーンとあわせて売上拡大に努めてまいりました。

以上の結果、中食その他事業の売上高は7,567百万円（前年同期比26.5%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より5,603百万円増加し、102,218百万円となりました。これは主に、投資有価証券が増加したことによるものです。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末より1,129百万円増加し、57,678百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が増加したことによるものです。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産は主に、利益剰余金が増加したことにより44,540百万円となりました。この結果、純資産から非支配株主持分を控除した自己資本は、前連結会計年度末より4,026百万円増加の41,592百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.8ポイント増加の40.7%となりました。

（3）キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動による現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の増加額が、投資活動及び財務活動による資金の減少額を上回ったこと等により、前連結会計年度末に比べ900百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は、9,719百万円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加額は5,529百万円（前第2四半期連結累計期間は1,536百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益によるものです。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少額は1,543百万円（前第2四半期連結累計期間は1,469百万円の減少）となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出があったことによるものです。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少額は3,474百万円（前第2四半期連結累計期間は1,879百万円の減少）となりました。これは主に、社債の償還による支出があったことによるものです。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの第2四半期連結累計期間の業績は、概ね当初計画の範囲内で推移していることから、2023年5月12日発表の業績予想に変更はありません。なお、今後、業績予想の修正が必要であると判断した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,834	9,734
受取手形及び売掛金	15,968	16,796
商品及び製品	7,482	7,995
仕掛品	1,449	1,960
原材料及び貯蔵品	7,068	6,336
その他	1,840	1,713
貸倒引当金	△87	△74
流動資産合計	42,556	44,462
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,871	20,976
減価償却累計額	△13,237	△13,423
建物及び構築物 (純額)	7,634	7,552
機械装置及び運搬具	34,554	37,722
減価償却累計額	△23,307	△24,849
機械装置及び運搬具 (純額)	11,247	12,872
土地	11,108	11,002
リース資産	2,603	3,050
減価償却累計額	△916	△1,098
リース資産 (純額)	1,687	1,952
建設仮勘定	1,205	1,721
その他	2,808	2,591
減価償却累計額	△2,291	△2,049
その他 (純額)	516	541
有形固定資産合計	33,399	35,643
無形固定資産		
のれん	9,309	9,436
その他	252	201
無形固定資産合計	9,562	9,638
投資その他の資産		
投資有価証券	7,460	9,163
その他	3,665	3,340
貸倒引当金	△29	△29
投資その他の資産合計	11,096	12,474
固定資産合計	54,058	57,755
資産合計	96,615	102,218

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,205	8,746
電子記録債務	2,584	2,731
1年内償還予定の社債	5,000	—
短期借入金	8,779	11,750
未払法人税等	797	1,557
賞与引当金	815	744
その他	9,224	9,388
流動負債合計	34,407	34,918
固定負債		
社債	10,060	10,060
長期借入金	7,460	7,151
役員退職慰労引当金	138	138
退職給付に係る負債	148	133
資産除去債務	286	293
その他	4,047	4,982
固定負債合計	22,141	22,759
負債合計	56,548	57,678
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,502	3,502
資本剰余金	3,759	3,759
利益剰余金	32,690	34,448
自己株式	△3,231	△3,232
株主資本合計	36,721	38,478
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,064	3,136
土地再評価差額金	△2,602	△2,602
為替換算調整勘定	1,503	2,698
退職給付に係る調整累計額	△121	△119
その他の包括利益累計額合計	844	3,114
非支配株主持分	2,500	2,948
純資産合計	40,066	44,540
負債純資産合計	96,615	102,218

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	51,840	55,637
売上原価	36,730	38,723
売上総利益	15,109	16,913
販売費及び一般管理費		
退職給付費用	108	118
賞与引当金繰入額	335	360
給料及び賞与	3,559	3,945
運賃及び荷造費	2,200	2,204
その他	6,432	7,393
販売費及び一般管理費合計	12,636	14,023
営業利益	2,473	2,890
営業外収益		
受取利息	0	13
受取配当金	90	135
為替差益	683	476
その他	111	104
営業外収益合計	885	730
営業外費用		
支払利息	158	189
その他	81	67
営業外費用合計	239	257
経常利益	3,119	3,363
特別利益		
投資有価証券売却益	13	34
子会社株式売却益	—	391
在外子会社清算に伴う為替換算調整勘定取崩益	43	—
特別利益合計	57	426
特別損失		
減損損失	2	3
子会社清算損	23	—
事業撤退損	7	1
店舗閉鎖損失	1	—
特別損失合計	33	5
税金等調整前四半期純利益	3,142	3,784
法人税等	1,022	1,384
四半期純利益	2,119	2,399
非支配株主に帰属する四半期純利益	205	378
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,914	2,021



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	2,119	2,399
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△314	1,072
為替換算調整勘定	1,989	1,432
退職給付に係る調整額	△6	2
その他の包括利益合計	1,667	2,507
四半期包括利益	3,787	4,906
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,200	4,290
非支配株主に係る四半期包括利益	587	616

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,142	3,784
減価償却費	1,687	1,403
減損損失	2	3
のれん償却額	424	500
その他の償却額	31	34
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△28	△18
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△43	△71
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	12	△0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△58	△58
受取利息及び受取配当金	△91	△148
支払利息	158	189
子会社株式売却損益 (△は益)	—	△391
子会社清算損益 (△は益)	23	—
有形固定資産除売却損益 (△は益)	16	22
投資有価証券売却損益 (△は益)	△13	△34
その他の営業外損益 (△は益)	△890	△468
売上債権の増減額 (△は増加)	1,561	△367
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,233	253
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,303	1,080
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△650	△535
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△201	63
その他の資産・負債の増減額	△821	794
小計	2,328	6,037
利息及び配当金の受取額	91	133
利息の支払額	△155	△168
法人税等の支払額	△859	△612
法人税等の還付額	131	140
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,536	5,529

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,461	△2,287
有形固定資産の売却による収入	—	19
投資有価証券の取得による支出	△8	△61
投資有価証券の売却による収入	13	39
子会社の清算による収入	14	—
子会社株式の取得による支出	—	△95
差入保証金の差入による支出	△56	△47
差入保証金の回収による収入	36	10
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	826
その他	△8	53
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,469	△1,543
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△188	3,020
長期借入れによる収入	—	655
長期借入金の返済による支出	△1,277	△1,337
社債の償還による支出	—	△5,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△141	△266
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△271	△546
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,879	△3,474
現金及び現金同等物に係る換算差額	25	389
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,786	900
現金及び現金同等物の期首残高	9,142	8,819
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,355	9,719

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報）

I 前第2四半期連結累計期間（自2022年4月1日 至2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内食料品 事業	海外食料品 事業	中食その他 事業	計				
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	26,459	19,320	5,980	51,760	80	51,840	—	51,840
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	26,459	19,320	5,980	51,760	80	51,840	—	51,840
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	0	0	49	49	△49	—
計	26,459	19,320	5,980	51,760	130	51,890	△49	51,840
セグメント利益	1,680	1,175	327	3,182	59	3,242	△769	2,473

（注）1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業であります。

2 セグメント利益の調整額△769百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△765百万円、セグメント間取引消去△3百万円が含まれております。全社費用は、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれんの発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内食料品 事業	海外食料品 事業	中食その他 事業	計				
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	27,009	20,894	7,567	55,470	—	55,470	—	55,470
その他の収益	—	—	—	—	166	166	—	166
外部顧客への売上高	27,009	20,894	7,567	55,470	166	55,637	—	55,637
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	0	1	49	50	△50	—
計	27,009	20,895	7,567	55,472	215	55,688	△50	55,637
セグメント利益	1,365	1,911	442	3,719	169	3,888	△998	2,890

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業であります。

2 セグメント利益の調整額△998百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△994百万円、セグメント間取引消去△3百万円が含まれております。全社費用は、主に持株会社である当社において発生するグループ管理費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。